



広報

8月

2006 August No.17

# なかどまり

■シリーズ

「活カ」

4

7月19日、マグロ延縄漁

のため、午後6時頃に13隻の漁船が漁場へ向って出港しました。まずは、エサにするスルメイカを釣り上げ、

船内の生簀（イケス・・・魚を生かして入れておく所）に入れておき、延縄に生きたまま仕掛け、海に縄を流しました。

「1時間格闘の末、船に釣り上げた時は、70〜80kgくらいはあるかと思っただが、帰港し荷揚場で100kgと聞いてビックリした。」

と、栄久丸船長の加藤さんは笑顔で話してくれました。

当地域の代表的なブランド魚種である「海峽メバル」

に続く魚種として、当海域を回遊するマグロに注目して以来、数年前から釣り上げられていきます。北海道南・本県大間町の津軽海峡産マグロが消費者から高い評価を受ける中、小泊産マグロの水揚げが、地域活性化と漁業振興に寄与されると期待されています。

と期待されています。

